

PORTABLE TELEPHONE SET

Patent number: JP2002232557
Publication date: 2002-08-16
Inventor: FUJINE KYOTA
Applicant: HITACHI INT ELECTRIC INC
Classification:
 - **international:** H04M1/652; H04Q7/38; H04M1/00;
 H04M1/658
 - **european:**
Application number: JP20010026610 20010202
Priority number(s): JP20010026610 20010202

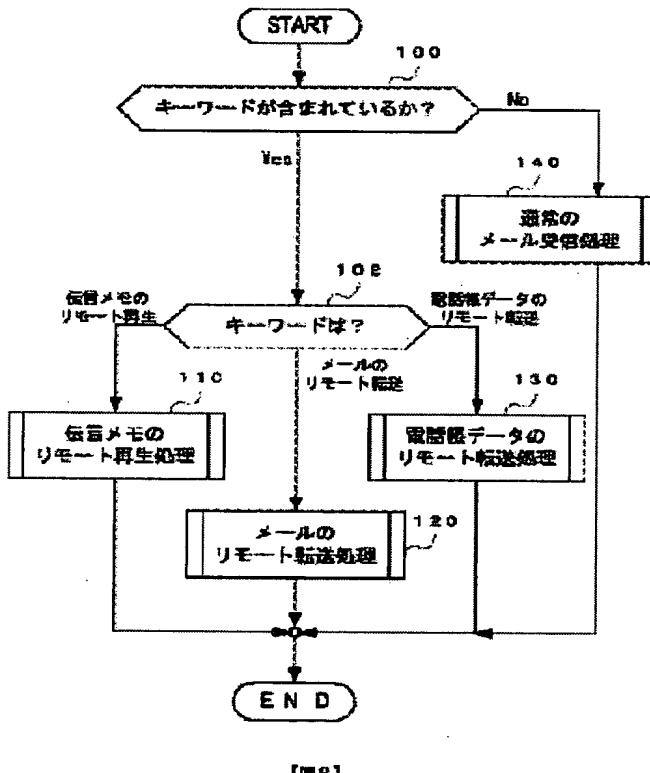
BEST AVAILABLE COPY

Report a data error here

Abstract of JP2002232557

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a portable telephone set that allows an optional telephone set to reproduce a message in a message memo through a remote control so as to enhance the convenience.

SOLUTION: The portable telephone set stores a keyword corresponding to a 'remote reproduction of a message memo' in advance according to the registration by a user, at the reception of mail, a control section 3 dials a telephone number when the received mail includes the keyword and the telephone number and conducts 'remote reproduction processing of message memo' that is a reproduction output of a message stored as a message memo.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-232557

(P2002-232557A)

(43)公開日 平成14年8月16日(2002.8.16)

(51)Int.Cl.⁷
H 04 M 1/652
H 04 Q 7/38
H 04 M 1/00
1/658

識別記号

F I
H 04 M 1/652
1/00
1/658
H 04 B 7/26

テマコード^{*}(参考)
A 5 K 0 2 7
E 5 K 0 3 9
5 K 0 6 7

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 7 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2001-26610(P2001-26610)

(22)出願日 平成13年2月2日(2001.2.2)

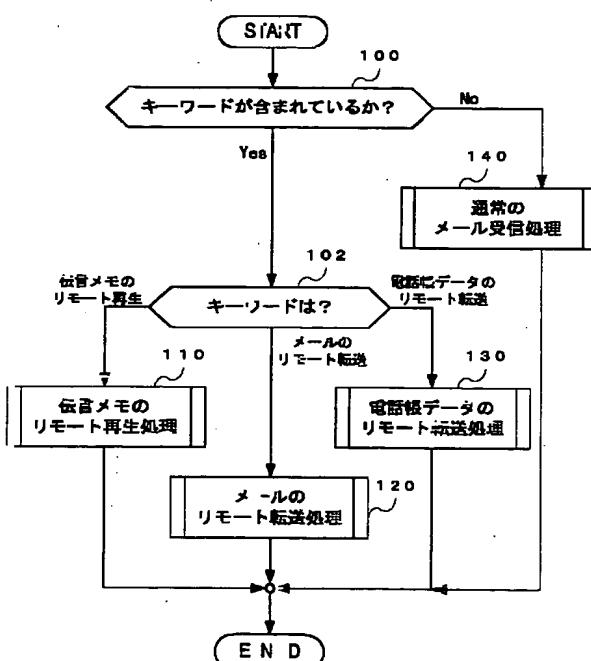
(71)出願人 000001122
株式会社日立国際電気
東京都中野区東中野三丁目14番20号
(72)発明者 藤根 京太
東京都中野区東中野三丁目14番20号 株式
会社日立国際電気内
(74)代理人 100093104
弁理士 船津 暢宏 (外1名)
Fターム(参考) 5K027 AA11 BB01 HH08
5K039 BB04 FF05 FF14 FF16
5K067 AA34 BB04 DD23 DD24 DD53
FF06 FF07 FF23 FF40 GG12
HH17 HH23 HH24 KK15

(54)【発明の名称】携帯電話機

(57)【要約】

【課題】従来の携帯電話機は、携帯電話機を持たずに出でてしまった場合等、外出先から伝言メモのメッセージを聞くことができず不便であるという問題点があったが、本発明は、遠隔操作により任意の電話機で伝言メモのメッセージを再生でき、利便性を向上させることができる携帯電話機を提供する。

【解決手段】ユーザの登録に従って予め「伝言メモのリモート再生」に対応するキーワードを記憶しておき、制御部3が、メール受信時に、受信メール中に当該キーワードと電話番号とが含まれていれば、当該電話番号を発呼して、伝言メモとして記憶されているメッセージを再生出力する「伝言メモのリモート再生処理」を行う携帯電話機である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 伝言メモ機能が設定されている場合に着信があると、着呼して発呼先から受信したメッセージを伝言メモとして記憶しておく携帯電話機であって、受信メール中に、予め登録された「伝言メモのリモート再生」のキーワードと電話番号とが含まれる場合に、当該電話番号を発呼して、応答を確認すると、伝言メモとして記憶されているメッセージを再生出力することを特徴とする携帯電話機。

【請求項2】 メールの送受信機能を備えた携帯電話機であって、受信メール中に、予め登録された「メールのリモート転送」のキーワードとアドレスとが含まれる場合に、受信して記憶しているメールの内、未読メールを読み出して前記アドレスに送信することを特徴とする携帯電話機。

【請求項3】 電話帳データを記憶し、メールの送受信機能を備えた携帯電話機であって、受信メール中に、予め登録された「電話帳データのリモート転送」のキーワードとアドレスとが含まれる場合に、記憶している電話帳データを読み出して前記アドレスに送信することを特徴とする携帯電話機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、携帯電話機に係り、特に簡単な遠隔操作で、録音されている伝言を別の電話機に転送して再生したり、未読メールを転送したり、電話帳データを転送して利便性を向上させることができる携帯電話機に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、留守の時にかかってきた電話に自動的に着呼して応答し、相手からのメッセージを録音する留守番電話機能を備えた有線電話機（留守番電話機）があった。このような留守番電話機には、留守番電話機能が設定されている場合に、ユーザが外出先から発呼して、呼出音の鳴音中に予め設定されている操作番号を入力することにより、録音メッセージを再生するものがあり、ユーザは外出先からでも録音メッセージを聞くことができるようになっていた。

【0003】また、従来の携帯電話機には、電話に出られない場合に自動的に着呼して相手の伝言を録音する伝言メモ機能が設けられているものがあった。更に、従来の携帯電話機にはメール送受信機能が設けられたものが多くなっている。

【0004】尚、伝言メモ機能付きの電話機の従来技術としては、平成12年1月21日公開の特開2000-22810号「留守番録音機能付き電話機」（出願人：国際電気株式会社、発明者：高田毒雄）がある。この従来技術は、メッセージを録音するRAM内のメッセージ録音領域をフォーマット化せずに、送られてきた順に詰めてメッセージを記憶していく、RAM内のアドレス記

憶領域に、メッセージ録音領域に記憶した各メッセージのメッセージ番号とそのメッセージ録音領域における最先部アドレス及び最後尾アドレスとを記憶する留守番録音機能付き電話機であり、録音記憶できるメッセージの長さを長くし、メッセージの長さが短いときでもメモリ利用効率の低下を回避できるものである。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の留守番電話機では、外出先から録音メッセージを聞く場合、電話を掛けたユーザに対して再生されるのみであり、他の電話番号に転送することはできず、不便であるという問題点があった。

【0006】また、上記従来の伝言メモ機能が設けられた携帯電話機では、携帯電話機本体を自宅に置き忘れた場合等、メッセージが録音されていても遠隔（リモート）操作で当該メッセージを再生したり、別の電話機に転送することはできず、不便であるという問題点があった。

【0007】更にまた、従来のメール送受信機能を備えた携帯電話機では、携帯電話機本体を自宅に置き忘れた場合等、ユーザが携帯電話機を携帯していかなければメールを受信していても遠隔操作で当該メールを別の装置に転送することはできず、不便であるという問題点があった。

【0008】また、上記従来の留守番電話機では、予め設定されている操作番号を入力しなければ外出先からの録音メッセージの再生はできず、ユーザは、他の機能と区別して特徴のない操作番号を覚えるのが困難であるという問題点があった。

【0009】本発明は上記実情に鑑みて為されたもので、携帯電話機を忘れた場合でも伝言メモを遠隔操作で任意の装置にて再生したり、メールを任意の装置に転送することができ、利便性及び使い勝手を向上させることができる携帯電話機を提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】上記従来例の問題点を解決するための本発明は、伝言メモ機能が設定されている場合に着信があると、着呼して発呼先から受信したメッセージを伝言メモとして記憶しておく携帯電話機であって、受信メール中に、予め登録された「伝言メモのリモート再生」のキーワードと電話番号とが含まれる場合に、当該電話番号を発呼して、応答を確認すると、伝言メモとして記憶されているメッセージを再生出力する携帯電話機としており、ユーザが携帯電話機を持たずに外出してしまった場合でも、外出先の装置から自分の携帯電話機宛にキーワードと所望の電話番号とを含むメールを送信すれば、外出先の所望の電話機に電話がかかって伝言メッセージが再生され、ユーザは遠隔操作で自己宛の伝言メッセージを聞くことができ、利便性を向上させることができる。

【0011】また、本発明は、メールの送受信機能を備えた携帯電話機であって、受信メール中に、予め登録された「メールのリモート転送」のキーワードとアドレスとが含まれる場合に、受信して記憶しているメールの内、未読メールを読み出して当該アドレスに送信する携帯電話機としており、ユーザが携帯電話機を持たずに外出してしまった場合でも、外出先の装置から自分の携帯電話機宛にキーワードと所望の装置のアドレスとを含むメールを送信すれば、外出先の所望の装置に未読メールが転送され、ユーザは遠隔操作で未読メールを読むことができ、利便性を向上させることができる。

【0012】また、本発明は、電話帳データを記憶し、メールの送受信機能を備えた携帯電話機であって、受信メール中に、予め登録された「電話帳データのリモート転送」のキーワードとアドレスとが含まれる場合に、記憶している電話帳データを読み出して前記アドレスに送信する携帯電話機としており、ユーザが携帯電話機を持たずに外出してしまった場合でも、外出先の装置から自分の携帯電話機宛にキーワードと所望の装置のアドレスとを含むメールを送信すれば、外出先の所望の装置に電話帳データが転送され、ユーザは遠隔操作で自分の電話帳データを取得することができ、利便性を向上させることができ。

【0013】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態について図面を参照しながら説明する。本発明に係る携帯電話機は、予め登録されたキーワードと電話番号とが含まれるメールを受信した場合に、当該電話番号を発呼して、伝言メモとして記憶されているメッセージを再生するものであり、ユーザが携帯電話機を自宅に置き忘れて外出してしまった場合等でも、外出先から自分の携帯電話機宛にキーワードと外出先の電話番号とをメールで送信すれば、外出先の電話でメッセージを聞くことができ、利便性を向上させることができるものである。

【0014】また、本発明に係る携帯電話機は、予め登録された別のキーワードとメールアドレスとが含まれるメールを受信した場合に、当該メールアドレス宛に未読メールを転送するものであり、ユーザが携帯電話機を自宅に置き忘れて外出してしまった場合等でも、外出先から自分の携帯電話機宛にキーワードと外出先のメールアドレスとを送信すれば、外出先で未読メールを読むことができ、利便性を向上させることができるものである。

【0015】また、本発明に係る携帯電話機は、予め登録された更に別のキーワードとメールアドレスとが含まれるメールを受信した場合に、当該メールアドレス宛に電話帳の内容を転送するものであり、ユーザが携帯電話機を自宅に置き忘れて外出してしまった場合でも、外出先から自分の携帯電話機宛にキーワードと外出先のメールアドレスとを送信すれば、外出先で電話帳データを受信してそれを用いることができ、利便性を向上させるこ

とができるものである。

【0016】図1は、本発明の実施の形態に係る携帯電話機（本装置）の構成ブロック図である。図1に示すように、本発明の実施の形態に係る携帯電話機は、従来の携帯電話機とほぼ同様の構成であり、アンテナを備え無線信号の送受信を行う無線部1と、データを表示する表示部2と、装置全体を制御する制御部3と、ユーザがキー入力を行う操作部4と、データを記憶するメモリ5と、電気信号を音声に変換するスピーカ6と、音声を電気信号に変換するマイク7とから構成されている。但し、制御部3における処理が従来とは一部異なっている。

【0017】次に、本装置の特徴部分について具体的に説明する。本装置には、従来と同様の伝言メモの機能が設けられており、伝言メモの機能が設定されている場合には、制御部3は、着信があると設定された一定時間経過後に着呼び、発呼者に、予め記憶されている伝言の録音を促すメッセージを出力して、受信した音声メッセージをメモリ5の特定のエリアに記憶すると共に、メッセージ再生の指示が入力された場合に、メモリ5の特定エリアから記憶されているメッセージを読み出して、音声に変換して出力するものである。そして、本装置の特徴として、伝言メモの再生を遠隔から行うことができる「伝言メモのリモート再生」の機能を備えている。

【0018】また、本装置には、メール送受信機能が設けられており、具体的には、メールの作成、送信、着信、記憶、表示といった機能が含まれる。また、本装置では、受信したメールはメモリ5の特定のエリアに記憶するが、少なくとも一度表示されたメールは既に読まれたメールとし、一度も表示されていないものは未読メールとして識別して記憶するようになっている。そして、本装置の特徴として、未読メールの転送を遠隔操作で行うことができる「メールのリモート転送」の機能を備えているものである。

【0019】更にまた、本装置の特徴として、遠隔操作で所望の電話番号やアドレスに電話帳データを転送する「電話帳データのリモート転送」の機能を備えているものである。

【0020】本装置のメモリ5は、従来と同様に、制御部3の処理プログラムや自己のID等のデータの他、電話帳メモリや送受信メール及び伝言メモの録音メッセージ等を記憶しているものである。

【0021】特に、本装置の特徴として、メモリ5は、予めユーザによって登録される「伝言メモのリモート再生」の機能を起動するキーワードや、「メールのリモート転送」の機能を起動するキーワード、及び「電話帳データのリモート転送」を起動するキーワードを特定のエリアに記憶しているものである。

【0022】また、本装置の制御部3は、従来の携帯電話機の制御部と同様に音声やデータの送受信に伴うデ

タ交換や通信制御を行うものであり、また、送受信以外の各種機能の制御やメモリ5への書き込み／読み出し、表示制御等、装置全体の制御を行うものである。

【0023】特に、本装置の特徴として、制御部3は、受信メール中に、予め登録された「伝言メモのリモート再生」のキーワードと電話番号とが含まれる場合に、当該電話番号を発呼して、着呼すると、伝言メモとしてメモリ5に記憶されている音声メッセージを再生出力する「伝言メモのリモート再生」の処理を行うものである。

【0024】また、本装置の制御部3は、受信メール中に、予め登録された「メールのリモート転送」のキーワードとメールアドレスとが含まれる場合に、メモリ5に記憶されている未読メールを当該メールアドレス宛に送信する「メールのリモート転送」の処理を行うものである。

【0025】また、本装置の制御部3は、受信メール中に、予め登録された「電話帳データのリモート転送」のキーワードとメールアドレスとが含まれる場合に、メモリ5に記憶されている電話帳データを当該メールアドレス宛に送信する「電話帳データのリモート転送」の処理を行うものである。

【0026】次に、本装置の動作について説明する。まず、キーワードの登録時の動作について説明する。本装置の操作部4から「伝言メモのリモート再生」のキーワード登録の指示が入力されると、制御部3は、入力されたデータを「伝言メモのリモート再生」のキーワードとしてメモリ5の所定のエリアに記憶する。

【0027】同様に、「メールのリモート転送」や「電話帳データのリモート転送」のキーワード登録の指示が入力された場合には、制御部3は、それぞれ入力されたデータを所定のエリアに記憶するようになっている。

【0028】具体的に説明すると、例えば、機能メニューの中に「キーワード登録」を設け、その下に「伝言メモのリモート再生」「メールのリモート転送」「電話帳データのリモート転送」の項目を設けておき、ユーザによって、操作部4からの操作で選択された項目に対応して入力されたキーワードを、制御部3がメモリ5の対応するエリアに記憶することが考えられる。

【0029】本装置では、キーワードをユーザが任意に登録できるので、ユーザにとっても忘れにくく、予め決められた操作番号を覚えておいて入力しなければならなかつた従来の留守番電話機に比べて、大幅に使い勝手をよくするものである。

【0030】そして、「伝言メモのリモート再生」のキーワードは、当該キーワードが受信メール中に含まれる場合に、制御部3が「伝言メモのリモート再生」の処理に移行するトリガとなるものである。また、「メールのリモート転送」や「電話帳データのリモート転送」のキーワードもそれぞれ対応する処理に移行するトリガとなるものである。

【0031】次に、本装置の動作について制御部3の処理を中心に説明する。本装置では、受信メール中に上述した「伝言メモのリモート再生」「メールのリモート転送」「電話帳データのリモート転送」のいずれかのキーワードが含まれる場合に、制御部3が、キーワードに対応する処理に移行するようになっている。

【0032】まず、メール受信時の制御部3の処理について図2を用いて説明する。図2は、メール受信時の制御部3の処理を示すフローチャート図である。図2に示すように、メールを受信すると処理が開始され、制御部3は、受信メール中にキーワードが含まれるか否かを判断し(100)、含まれない場合には通常のメール受信処理を行う(140)。

【0033】また、処理100で受信メール中にキーワードが含まれる場合には、制御部3は、受信したキーワードが、メモリ5に記憶している「伝言メモのリモート再生」「メールのリモート転送」「電話帳データのリモート転送」のいずれであるかを判断する(102)。

【0034】そして、制御部3は、受信したキーワードが「伝言メモのリモート再生」であれば、「伝言メモのリモート再生処理」に移行し(110)、キーワードが「メールのリモート転送」であれば「メールのリモート転送処理」に移行し(120)、キーワードが「電話帳データのリモート転送」であれば「電話帳データのリモート転送処理」に移行する(130)。このようにして本装置のメール受信時の処理が行われるものである。

【0035】次に、制御部3の「伝言メモのリモート再生処理」について図3を用いて説明する。図3は、図2の処理110に示した制御部3の「伝言メモのリモート再生処理」を示すフローチャート図である。図3に示すように、制御部3は、伝言メモのリモート再生処理が起動されると、受信メール中に電話番号が含まれているかどうかを判断し(202)、含まれていない場合には、そのまま処理を終わる。

【0036】また、受信メール中に電話番号が含まれている場合には、制御部3は、当該電話番号を発呼する発信処理を行う(204)。そして、制御部3は、相手が応答したかどうか、つまり着呼したかどうかを判断し(206)、着呼した場合には、伝言メモを再生する伝言メモ再生処理を行う(208)。具体的には、制御部3は、メモリ5の伝言メモの記憶エリアに記憶されている伝言メモを読み出して、音声としてスピーカ6に出力する。メモリ5に伝言メモが記憶されていなかった場合には、制御部3は、メモリ5に予め記憶されている「伝言はありませんでした」といったメッセージをスピーカ6に出力する。そして、制御部3は回線を切断する終話処理を行って(210)、処理を終わる。このようにして制御部3の伝言メモのリモート再生処理が行われるものである。

【0037】これにより、ユーザは、携帯電話機を持た

ずに外出してしまった場合でも、外から「伝言メモのリモート再生」のキーワードと、近くにある所望の電話機の電話番号とを含むメールを自分の携帯電話機に送信すれば、当該電話機に自分の携帯電話機から電話がかかり、自分宛の伝言を聞くことができ、利便性を向上させることができるものである。

【0038】次に、図2の処理120に示した「メールのリモート転送処理」について説明する。制御部3は、図2に示したように、受信メール中に「メールのリモート転送」のキーワードが含まれていると「メールのリモート転送処理」を起動し、受信メール中にアドレスが含まれるかどうかを判断し、アドレスが含まれる場合には、メモリ5から未読メールを読み出して当該アドレス宛に送信する。また、受信メール中にアドレスが含まれない場合には、そのまま処理を終わる。このようにして制御部3の「メールのリモート転送処理」が行われるものである。

【0039】これにより、ユーザが携帯電話機を置き忘れた場合でも、「メールのリモート転送」のキーワードと、別のパーソナルコンピュータ（PC）や携帯端末等のアドレスを含むメールを自分の携帯電話機宛に送信すれば、指定したPCや携帯端末に未読メールが転送され、外出先からでも自分宛のメールを読むことができるものである。

【0040】次に、図2の処理130に示した「電話帳データのリモート転送処理」について説明する。制御部3は、受信メール中に「電話帳データのリモート転送」のキーワードが含まれていた場合に「電話帳データのリモート転送処理」を起動し、受信メール中にアドレスが含まれるかどうかを判断し、アドレスが含まれる場合には、メモリ5から電話帳データを読み出して当該アドレス宛に送信する。また、受信メール中にアドレスが含まれない場合には、そのまま処理を終わる。このようにして制御部3の「電話帳データのリモート転送処理」が行われるものである。

【0041】これにより、ユーザが携帯電話機を置き忘れた場合でも、「電話帳データのリモート転送」のキーワードと、別のPCや携帯端末等のアドレスを含むメールを自分の携帯電話機宛に送信すれば、指定したPCや携帯端末に電話帳データが転送され、外出先からでも自分が管理している電話帳データを取得できるものである。尚、同様の方法で着信履歴のリモート転送も可能である。

【0042】本発明の実施の形態に係る携帯電話機（本装置）によれば、ユーザの登録に従ってメモリ5に予め「伝言メモのリモート再生」に対応するキーワードを記憶しておく、制御部3が、メール受信時に、受信メール中に当該キーワードと電話番号とが含まれていれば、当該電話番号を発呼して、伝言メモとして記憶されているメッセージを再生出力する「伝言メモのリモート再生処

理」を行うようにしておき、ユーザは、自宅に携帯電話機を置き忘れてしまった場合等でも、外出先のPCや友人の携帯端末等から自分の携帯電話機にキーワードと所望の電話機の電話番号とを含むメールを送信すれば、外出先の所望の電話機に自分の携帯電話機から電話がかかり、伝言メモのメッセージが再生されるので、携帯電話機を携帯していないなくても遠隔操作で別の電話機で伝言メッセージを聞くことができ、利便性を向上させることができる効果がある。

【0043】更に、本装置によれば、メールを送信する装置と伝言メモのメッセージを再生する装置とは異なる装置で構ないので、ユーザが、PCから別のところにいる友人の携帯電話機の電話番号を含むメールを本装置宛に送信すれば、伝言メッセージを友人等に聞かせることも可能であり、様々な使い方ができる効果がある。

【0044】また、本装置によれば、メモリ5に「メールのリモート転送」に対応するキーワードを記憶しておく、制御部3が、受信メール中に当該キーワードとアドレスとが含まれていれば、未読メールを読み出して当該アドレス宛に送信するようにしておき、ユーザは、自宅に携帯電話機を置き忘れてしまった場合等でも、外出先から自分の携帯電話機にキーワードと所望の装置のアドレスとを含むメールを送信すれば、所望の装置に未読メールが転送されて読むことができ、利便性を向上させることができる効果がある。

【0045】また、本装置によれば、メモリ5に「電話帳データのリモート転送」に対応するキーワードを記憶しておく、制御部3が、受信メール中に当該キーワードとアドレスとが含まれていれば、電話帳データを読み出して当該アドレス宛に送信するようにしておき、ユーザは、自宅に携帯電話機を置き忘れてしまった場合等でも、外出先から自分の携帯電話機にキーワードと所望の装置のアドレスとを含むメールを送信すれば、自分が携帯電話機で管理している電話帳データが所望の装置に転送されて、参照することができ、利便性を向上させることができる効果がある。

【0046】更にまた、本装置によれば、キーワードは、ユーザが任意に登録することができるので、各々のユーザにとって覚えやすいキーワードとすることができ、特徴のない操作番号を覚える必要が無くなり、使い勝手を向上させることができるのである。

【0047】また、ここでは携帯電話機を例として説明したが、携帯電話機に限らず有線電話機でもメールの送受信機能を備えたものであれば、メモリにキーワードを登録しておく、制御部が本装置と同様の処理を行うことにより、遠隔操作により別の電話機で伝言メッセージ（留守番電話メッセージ）を再生したり、未読メールを所望のアドレスに転送したり、電話帳データを転送することができ、利便性を向上させることができるのである。

【0048】

【発明の効果】本発明によれば、受信メール中に、予め登録された「伝言メモのリモート再生」のキーワードと電話番号とが含まれていれば、当該電話番号を発呼して、応答を確認すると、伝言メモとして記憶されているメッセージを再生出力する携帯電話機としているので、ユーザが携帯電話機を持たずに外出してしまった場合でも、外出先の装置から自分の携帯電話機宛にキーワードと所望の電話番号とを含むメールを送信すれば、外出先の所望の電話機に電話がかかって伝言メッセージが再生され、ユーザは遠隔操作で自己宛の伝言メッセージを聞くことができ、利便性を向上させることができる効果がある。

【0049】また、本発明によれば、メールの送受信機能を備えた携帯電話機であって、受信メール中に、予め登録された「メールのリモート転送」のキーワードとアドレスとが含まれる場合に、受信して記憶しているメールの内、未読メールを読み出して当該アドレスに送信する携帯電話機としているので、ユーザが携帯電話機を持たずに外出してしまった場合でも、外出先の装置から自分の携帯電話機宛にキーワードと所望の装置のアドレスとを含むメールを送信すれば、外出先の所望の装置に未読メールが転送され、ユーザは遠隔操作で未読メールを読むことができ、利便性を向上させることができるのである。

がある。

【0050】また、本発明によれば、電話帳データを記憶し、メールの送受信機能を備えた携帯電話機であって、受信メール中に、予め登録された「電話帳データのリモート転送」のキーワードとアドレスとが含まれる場合に、記憶している電話帳データを読み出して当該アドレスに送信する携帯電話機としているので、ユーザが携帯電話機を持たずに外出してしまった場合でも、外出先の装置から自分の携帯電話機宛にキーワードと所望の装置のアドレスとを含むメールを送信すれば、外出先の所望の装置に電話帳データが転送され、ユーザは遠隔操作で自分の電話帳データを取得することができ、利便性を向上させることができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係る携帯電話機（本装置）の構成ブロック図である。

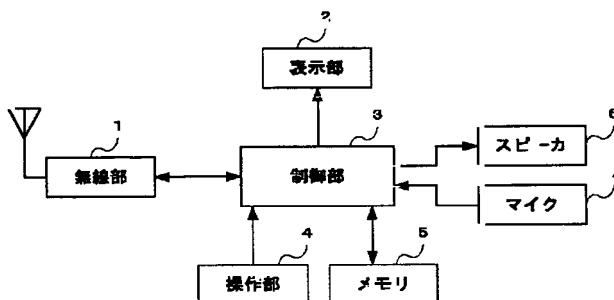
【図2】メール受信時の制御部③の処理を示すフローチャート図である。

【図3】図2の処理110に示した制御部③の「伝言メモのリモート再生処理」を示すフローチャート図である。

【符号の説明】

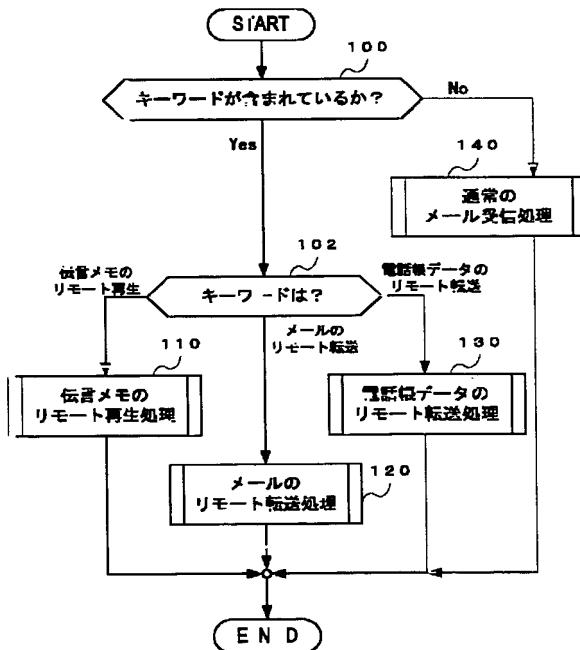
1…無線部、 2…表示部、 3…制御部、 4…操作部、 5…メモリ、 6…スピーカ、 7…マイク

【図1】



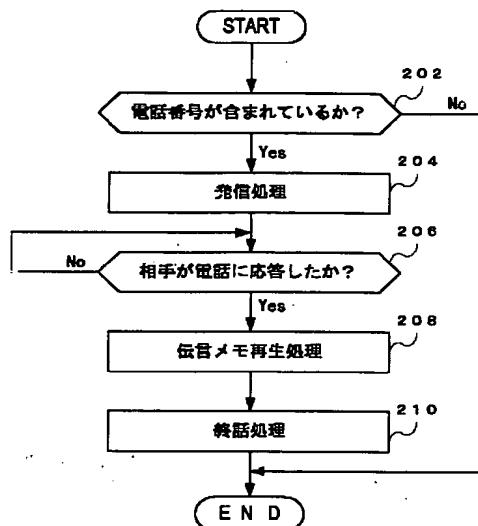
【図1】

【図2】



【図2】

【図3】



【図3】

フロントページの続き

(51) Int.CI.7

識別記号

F I
H 0 4 B 7/26

(参考)

109M

THIS PAGE BLANK (USPTO)

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)